

第8回町民マラソン大会

さわやかに
さあ歩こう・走ろう

今年で八回目を数える油谷町民マラソン大会を幼児からおとしよりにまで気軽に参加できるように新しく歩こうの部などを加えて左記要領により行います。

皆さんの参加をお待ちします。

申し込みは中央公民館へ。

日時 十一月十七日(土)
午後二時スタート

集合場所 人丸畜産市場

歩こうの部

ふれあいウォークラリー

● 図面を見て正しいコースを選び途中の簡単な問題をときながら歩く(グループ三〜五人)
走ろうの部

コース	対象	距離
A コース	親子(幼児と親)	一キロ
B コース	小学一〜三年	一・五
C コース	小学四〜六年	三キロ
D コース	中学・高校の女子	三キロ
E コース	一般の女子	一・五 キロ
F コース	一般男女	三キロ
G コース	中学・高校 一般の男子	三キロ 五キロ

各種大会の結果

◎第13回部落対抗ソフトボール大会 36チーム参加(9月2日)

Aブロック

優勝……………掛 洲
準優勝……………東大坊

Bブロック

優勝……………河原A
準優勝……………大浦西

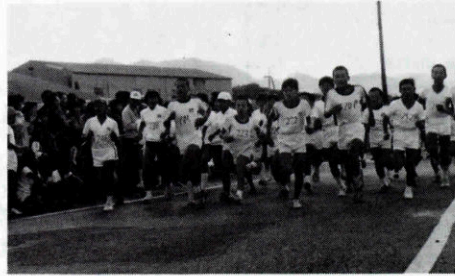
◎第14回婦人バレーボール大会 14チーム参加(9月2日)

Aブロック

優勝……………向津具
準優勝……………蔵小田A

Bブロック

優勝……………大 浦
準優勝……………久 富



さっそうとスタート

※ タイム宣言：出発前に自分の所用タイムを予測して、それに近くなるように走ったり歩いたりする競技(但し、予測タイムは二〇分以内とする)

これからの主な体育行事

- ①第二回町バレーボール協会会長杯(職域の部)
日時 十一月十八日(日)
午前八時三〇分開会式
会場 勤労者体育センター
- ②第一回町内インディアアカ大会
日時 十一月二十五日(日)
午前九時開会式
会場 勤労者体育センター
- ③第二九回町民駅伝大会
日時 十二月一日(土)
午後一時開会式
コース 大浦保育所〜役場前(六区間二〇・八キロ)
- ④第一回町内卓球大会
日時 十二月二日(日)
午前八時三〇分開会式
会場 勤労者体育センター

私は婦人国内研修生として、同和地域の先進地である徳島県各地の視察と交流、それに徳島婦人指導者研修講座に参加しました。私達の身の廻りには、迷信や偏見による差別が様々な形で残っており、今いちばん深刻に取組まなければならぬ問題ではないでしょうか。

地区出身者が数名参加しておられました。自己紹介も今では顔を上げ胸を張って、「〇〇地区から参加しました。大変お世話になりました。」と、明るくあいさつされました。これも、たびたび研修に参加し、勉強を積まれた結果だと思えます。「やはり、自分が変わっていないかなければなりません」と、さわやかな発言をされました。夜の対話では、京都の方から、父や母の苦労、自分が自分を差別してきた過去、大変に厳しかった実態を涙を流しながら話されました。あらゆる所に今も部落差別は様々な形態で根強く残り、目に見えない心理的差別に悩んでいる人がいるとすれば、一日も早く、一人一人の責任において完全に解決出来る日まで、私達は同和問題の本質について正しく勉強しなければなりません。歴史の中で作られた身分制度ですから、これを解消することも不可能な事ではないと思います。同和地区を持たない町は、持っている町よりもこの問題に対し、消極的であったり、無関心であるかもしれませんが、同じ日本民族であります。基本的な人権を尊重し、幸せで豊かな生活が送られるように努力したいと思っております。

同和研修会に参加して

蔵小田地区婦人会長

山本 フジ子さん(中畑)

先進地の各種団体と交流し、同和問題解決のための取り組みや実践の数々を勉強して、初めて人権教育の重要性を身をもって感じました。中でも鴨島一中学校の場合は、先生・生徒・PTAの協力で作られた人権映画の一部を鑑賞しました。内容は、いじめも差別解消に向って立上り、やがて人の力も借りずに自ら光輝く存在となっていく過程を描いており、大変に感動しました。徳島県では、行政側の各課長を中心に同和問題に取組み、毎月第一土曜日は、同和対策推進協議会と共に町内を班別訪宅し話し合い、建前と本音が一致するまで啓発活動を展開し、今では結婚問題も心配することはなくなつたと聞きました。このように、地域住民、行政関係者の協力態勢のもとに、地についた同和教育が展開されています。研修には、京都の研修生と行動を共にしましたが、その中に同和